

動（価格による作付面積の変動）が大きいことと、現状ではそ菜用の安定した除草剤が開発されているとは言えず、わずかに玉葱・蕎麦・人参に除草剤を使用する程度で、今後はそ菜用除草剤の研究にも力を入れる必要がある。

果樹経営にとっては、今後省力化がきわめて重要となっているが、とくに経済性の観点からも除草剤利用の可能性は大きい。しかし、現状ではまだ、除草剤としては数においても効果の面からも充分とは言えない。

次に除草剤の作用特性からみた場合、水稻では、移植後の土壌処理が中心となると考えられるが、さらに処理期幅の拡大をはかり、発生雑草の片寄りなど問題解決のため、一層混合剤を活用する方向で研究を進めてもらいたい。

麦については、除草剤の連用によって雑草群

落の変動が考えられるので、今後は後期発生の雑草処理を重視する雑草剤の開発を期待する。麦の多株穴播の除草剤についても、播種前雑草処理剤と播種後土壌処理剤の混合剤を開発して省力化を進める必要がある。

多年生雑草のマツバイ・ミズガヤツリなどに対する特効的薬剤を大いに期待している。

また、早期水稻については、現状の除草剤 2 回処理でも、なお残草処理に多大の労力を要しており、この対策として Swe p M のような雑草発生処理効果が高く、残効期間の長い除草剤を開発してもらいたい。

なお、畑地の雑草防除については、除草剤の土壌混層処理（播種および播種前）用の薬剤と処理法の確立を望んでいる。

昭和43年産春夏作そさい関係除草剤・生育調節剤

試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和43年度春夏作そさいに供試された薬剤数は25薬剤で、14種類のそさいについて101場所で試験された。

そのうち、実用化に移されたものは、除草剤

で6薬剤、生育調節剤で2薬剤である。

供試薬剤の成分は、第1表の通りである。なお、実用化薬剤の使用基準については、第2表に掲げた。

< 第1表 > 供試薬剤成分一覧表

(1) 除草剤

№	そ菜名	薬剤名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社名
1	カンラン	CP-50144 (ラッソー)	乳	2-クロロ, 2', 6'-ジメチル-N -メトキシメチル-アセトアニリド	M N 研究会
		MO-500	乳	2, 4-ジクロロ-6-フルオルフェニル -4'-ニトロフェニルエーテル	三井化学

№	そ 業 名	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社名
1	カンラン	C-7019 (メラゾン)	水和	トリアジン系化合物 50%	チバ製品
		SW-6701	水和	3-(2-メチルフェノキシ)ピリダジン 50%	三 共
		N I P	微粒	2,4-ジクロルフェニル-4'- ニトロフェニルエーテル 5%	スタム・ニップ 普及会
2	レタス	MO-500	乳	(カンランの項参照)	三井化学
3	パセリ(本畑)	C M M P (ダクロン)	乳	N-(3-クロル-4-メチルフェニル)4-5%- 2-メチルペンタンアミド	中外製薬
	(苗床)	C M M P (ダクロン)	乳	(同上)	中外製薬
4	ミツバ	C M M P (ダクロン)	乳	(パセリの項参照)	中外製薬
5	ネギ(本畑)	MK-072	乳	α, γ, β -トリクロロプロピオンアミド 40%	三菱化成
	(苗床)	MK-072	乳	(同上)	三菱化成
6	トマト	CP-50144 (ラッソー)	乳	(カンランの項参照)	MN研究会
	(露地)	SW-6701	水和	(カンランの項参照)	三 共
	(ハウス・トンネル)	SW-6701	水和	(カンランの項参照)	三 共
	(ハウス・トンネル)	SW-6721	乳	3-(2-メチルフェノキシ)ピリダジン 25%	三 共
	(ハウス・トンネル, 露地)	R-2061 (チラム)	乳	S-プロピル-ブチル・エチルチオ カーバメイト 75%	東洋棉花
7	ナス	SW-6701	水和	(カンランの項参照)	三 共
8	ピーマン	SW-6701	水和	(カンランの項参照)	三 共
		SW-6721	乳	(トマトの項参照)	三 共
9	イチゴ(親株床)	SW-6701	水和	(カンランの項参照)	三 共
		SW-6721	乳	(トマトの項参照)	三 共
		H-1318	水和	1-(2-メチルシクロヘキシル) -3-フェニルウレア 50%	丸和物産
		T C T P (ダクター)	水和	テトラクロレフタル酸 ジメチルエステル 75%	室町化成
		C M M P (ダクロン)	乳	(パセリの項参照)	中外製薬
10	タマネギ(本畑)	SW-6701	水和	(カンランの項参照)	三 共
		MK-072	乳	(ネギの項参照)	三菱化成
		T O - 2 (セレクト)	水和	チアゾール誘導体	東洋高圧
	(直播)	C A P C	水和	{ P C A ; 1-フェニル-4-アミノ -5-クロルピリダジン-6 BIPC ; ブチル-m- クロルフェニルカーバメイト 16%	北興化学
	(苗床)	MO-500	乳	(カンランの項参照)	三井化学
11	ショウガ	リニュロン	水和	3-(3,4-ジクロルフェニル)1- メトキシ1-メチル尿素 50%	アフロン普及会

№	そ 菜 名	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社名
12	ニンジン	N I P C-6313	微粒 水和	(カンランの項参照) フェニル尿素系化合物	スタム・ニップ 普及会 チバ製品
13	ゴボウ	MO-500	乳	(カンランの項参照)	三井化学
14	レンコン	KH-152 (モゲトン)	粒	アミノクロルナフトキノン 9%	兼 商

(2) 生育調節剤

№	そ菜名	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社名
1	トマト	H-410 T R T (トライロンA) R P-7846 (トライロンB) C C C	錠 錠 液	未公開(Na塩として) 100% 4-クロロ-2-ヒドロキシメチルフェノキシ酢酸 90mg/Tab 2-フォルミル-4-クロロフェノキシ酢酸 90mg/Tab クロロマリンクロライド 50%	日産化学 シオノギ製薬 シオノギ製薬 三菱化成
2	スイカ	C C C	液	(トマトの項参照)	三菱化成
3	花卉類	G-431 O エクベロン L エクベロン H, W	液 粉	未公開 α-ナフタリン酢酸 0.15% 塩酸チアミン 1.0% 硫酸カリ 98.5% インドール酪酸 0.4% インドール酪酸 0.1, 0.2%	日産化学 日本薬品化学 シオノギ製薬 シオノギ製薬

<第2表> 実用化除草剤・生育調節剤使用基準一覧表

(1) 除 草 剤

№	そ 菜 名	薬 剤 名	処 理 時	処 理 方 法	使 用 量 (製品アール当り)
1	カンラン	CP-50144 (ラッソー)	定 植 直 後	土壌全面処理	10~20cc
2	パセリ(本畑)	C M M P (ダクロン)	活 着 後	雑草処理(3cm以下)	50~100cc
	(苗床)	C M M P (ダクロン)	播 種 後	雑草処理(3cm以下)	50~100cc
3	ミツバ	C M M P (ダクロン)	播 種 後	雑草処理(3cm以下)	50~100cc
4	トマト(露地)	SW-6701	定 植 直 後	株間土壌処理	40~60g
	(露地)	R-2061 (チラム乳剤)	定植前日・定植 直後・活着後	土壌処理	50~70cc
	(ハウス・トンネル)	SW-6701	定 植 直 後	株間土壌処理	40~60g
5	ピーマン(露地)	SW-6701	定 植 直 後	株間土壌処理	40~60g
6	イチゴ	C M M P (ダクロン)	定 植 後	雑草処理(3cm以下)	50~100cc

№	そ 菜 名	薬 剤 名	処 理 時	処 理 方 法	使 用 量 (製品アール当り)
7	ニンジン	N I P 微 粒 剤	播 種 後	土 壤 処 理	4 0 0 ~ 6 0 0 g
8	レ タ ス	S L H - 1 4	定 植 前 定 植 後	土 壤 混 和 処 理 土 壤 全 面 処 理	6 0 ~ 8 0 cc 8 0 ~ 1 5 0 cc

(2) 生育調節剤

№	そ 菜 名	薬 剤 名	剤 型	使 用 法
1	ト マ ト	ト ラ イ ロ ン A (ト ラ イ ロ ン B)	錠 錠	第1花房50%開花時 150ppm 10cc/株 1回散布

昭和43年度水稲作関係除草剤

試 験 成 績 概 要 (2)

財団法人 日本植物調節剤研究協会

<第3表> 実 用 化 除 草 剤 使 用 基 準 一 覧 表

	薬 剤 名	処 理 法	使 用 量 (成分g/a)	処 理 時 期	適 用 土 壤	適 用 地 帯	使 用 上 の 注 意
(1) 移植栽培・本田	2,4-P A 粒剤 (1.5%)	雑草処理	(従来どおり)				
	M C P 粒剤 (1.4%)	雑草処理	移植後25日以降 (その他従来通り)				
	M C P 粉末 (70%)	雑草処理	(MCPソーダ塩に準ずる)				
	DIC-4103 粒剤 (20%+1.2%)	土壌処理	60+3.6 ~80+4.8 (PCP-Na +CPH)	移植後4~7日 オ1回中耕後	壤土~埴土 (減水深 1.5cm/day 以下)	極寒冷地(北海道)を除く普通 期 全 域	・PAMに準ずる
	F-51粒剤 (2%+1%)	土壌処理	8+2	移植後4~8日	壤土~沖積埴土 (減水深 2cm/day 以下) 洪積火山灰土 (減水深4~5 cm/day以下)	北海道を除く 全 域	・減水深の大きい地 帯を除く ・水稲活着後使用平 均気温20℃以下 のときは使用しない。
	SL-661粒剤 (7%+1.2%)	土壌処理	21+3.6	移植後4~7日	壤土~埴土 (減水深 3cm/day 以下) 砂埴土 (減水深 1cm/day 以下)	冷水地帯を除く 関東以西の普通 期栽培	ノビエ1.5葉期以内に 使用 その他MCPCA粒 に準ずる
	SLT-681粒剤 (1.3%+1.5%)	土壌処理	3.9+4.5 ~5.2+6.0 (トリフルラリン +MCPA)	移植後4~8日	壤土~埴土 (減水深 2cm/day 以下)	北海道を除く 普通期栽培	減水深の大きい水田 での使用はさける